



第259号

発行所 (公社)神奈川労務安全衛生協会  
横須賀支部  
TEL 845-9522  
FAX 845-9510  
発行責任者 武市 竜誠  
編集責任者 松村 誠一

### 二〇二二年横須賀支部定時総会が開催される

去る五月一七日、(公社) 神奈川労務安全衛生協会横須賀支部の二〇二二年定時総会が、横須賀市立勤労福祉会館において会員事業所一九四社中、一四〇社(委任状含む) が出席して開催されました。

定時総会は、横須賀支部事務局の西山氏が司会を務めるとともに議事説明を行いました。

司会による総会成立の報告の後、議長に支部規約に則り、小平支部長(住友重機械工業(株)横須賀製造所)が就任し、鈴木(章)氏(相模運輸倉庫株式会社)と鈴木(省)氏(池内精工株式会社)が書記に任命され、議事が進行了ました。



支部長 小平一穂 氏

- 第一号議案 二〇二一年度事業報告
- 第二号議案 二〇二一年度収支決算報告及び会計監査報告
- 第三号議案 二〇二二・二〇二三年度役員選出
- 第四号議案 二〇二二・二〇二三年度支部長、副支部長、支部長部会長、会計監査承認

第二号議案ではまず、二〇二一年度収支決算に關し説明が行われました。二〇二一年度は、講習会の開催中止(自粛)等もあり、講習受講者は低調であったものの、依頼に基づく出張・追加講習が事業所収益を大きく引き上げる要因となりました。また、横須賀地域講習に対する支部還元金が協会本部より交付され、事業所収益の増加と併せて経常収益を支えやすかたとなり、期末正味財産は期首から増加したことが報告されました。会計監査役員による会計監査の結果、会計業務は適切かつ正確に行われていることが確認できたと報告されました。

第一号議案と第二号議案については、意義等はなく、参加者全員の手拍子をもって承認されました。続いて第三号議案と第四号議案の説明が行われました。第三号議案では、二〇二二・二〇二三年度役員選出について、役員事業所として二一社が提案されました。第四号議案では、二〇二二・二〇二三年度支部長、副支部長、部会長、会計、会計監査の選出について、七事業所が提案されました。第三号議案と第四号議案についても、参加者全員の拍手をもって承認されました。

報告事項として、二〇二二年度事業計画及び二〇二二年度正味財産増減予算書について報告されました。事業計画では、新型コロナウイルス感染症対策を徹底した上で教育事業及び啓発事業を推進することが述べられました。

正味財産増減予算書については、新型コロナウイルス感染症の収束が不透明な状況の中、引き続き収益の増加につながる講習受講者の回復(増加)は見込めず、費用超過の予算としたことが報告されました。

した。尚、費用超過に対しては、協会本部より交付された「支部負担金」による費用の超過分の補填等の措置が説明されました。その後、新旧支部長の挨拶がありました。最初に二〇二〇年度から二年間支部長を務められた住友重機械工業(株)横須賀製造所の小平支部長から次のような挨拶がありました。

「支部長に就任した時期は新型コロナウイルス感染症が急激に拡大し、第一回目の緊急事態宣言が発令され、その後もまん延防止措置等もあり、計画に基づく事業の展開が難しい状況が続きました。このような状況の中、役員はもとより会員の皆様のご理解とご協力により支部運営に携わってまいりました。横須賀支部の運営に賜りました皆様のご協力に感謝申し上げます。」



新支部長 武市竜誠 氏

最後に、新支部長に就任された東芝ライテック株式会社の武市新支部長から次のような挨拶がありました。「新型コロナウイルスの収束が見通せない状況で、引き続き支部事業の運営に影響が及ぶと考えられます。感染防止対策を徹底し、講習等の公益目的事業を着実に展開し、会員会社、事業場の皆様のニーズに答えていく事が重要である

と考えっております。横須賀支部の運営に引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。定時総会は無事に終了しました。(文責 阿部)

### 受賞おめでとうございます

◇ 労務安全衛生功労賞 ◇  
二〇二二年定時総会において、支部活動に大きく貢献された二名の支部長表彰が行われました。心よりお祝い申し上げます。(五十音順)

シンジーテック(株)横須賀事業場 進藤 裕二 殿  
進藤氏は、広報部会において、主に支部報の記事作成を行われ、取材活動及び記事の執筆など、支部の事業活動及び各種情報の提供に大いに貢献されました。



住友重機械工業(株)横須賀製造所 小林 知茂 殿

小林氏は、支部長代行として支部活動全般の運営に携わるとともに会計を務められ、支部事業の推進に大いに貢献されました。



令和四年度  
横須賀支部主催  
新入社員教育

四月二二日(火)横須賀市立勤労福祉会館において「新入社員安全衛生教育」を開催された。この講習は、法令に基づく雇入れ時の安全衛生教育で、会員事業場・一般事業場を合わせ、一三事業場から新進気鋭の新入社員四三名が受講した。

講習は、横須賀労働基準監督署安全衛生課長生田悟氏、日産自動車株式会社追浜工場で安全健康管理課長を務める松村誠一氏を講師として迎え、二部構成で行われた。



講義される生田 悟 氏

講習の第一部は、横須賀労働基準監督署生田安全衛生課長が「労働基準監督署の業務及び法令」をテーマとして①厚生労働省の地方

出先機関としての労働基準監督署の業務②新入社員安全衛生教育の意義③労働災害の定義及び労働災害発生の原因と発生時の処置④労働安全衛生法の目的とその概要⑤職場における安全衛生活動、特に4S活動・KY活動・危険の「見える化」・リスクアセスメント等の概要について講義した。

講義の時間は、約三〇分という短い時間ではあったが、横須賀労働基準監督管内における労働災害の発生状況等を交えつつ、受講者が新社会人・新入社員という特性に合わせて分かり易い説明が加えられ、受講者にとつて職場での安全衛生活動に取り組んでいくための動機付けとなった。



講義される松村誠一 氏

引き続き、第二部として松村氏が①安全につながる仕事の基本②職場の安全管理③安全な仕事の基本等、職場や作業現場における安全管理の基本的事項について講義

した。

講師は、安全衛生・防火に関する業務に永年携わってきた経験を活かし、実体験や災害事例を交えた説明を行い、労働災害や労働衛生のみならず、仕事と健康の関係や日常生活を通じた健康管理の重要性等、社会人・社員として日頃から心掛けるべき事項について、受講者の理解と自覚を促した。

講習終了時のアンケート調査では、「今日学んだことを活かし安全に気を付けて仕事に取り組む」「気付きや情報は周囲の人と共有しながら、仕事をするのが大切だと感じた」「安全な業務遂行を第一に仕事を行う」等の多数の意見があり、受講者の安全に関する意識の高まりが感じられた。

(文責 西山)



聴講風景

事務局だより TEL845-9522 FAX845-9510

《6月～7月行事計画》

【6月度】

☆フルハーネス型安全带  
使用作業特別教育  
開催日：6月18日(土)  
会場：住友重機械工業㈱  
横須賀製造所内  
教育訓練センター

☆粉じん作業特別教育  
開催日：6月23日(木)  
会場：ヴェルクよこすか

【7月度】

☆危険予知訓練研修会  
開催日：7月1日(金)  
会場：ヴェルクよこすか

☆職長安全衛生教育  
開催日：7月19日(火)  
20日(水)  
会場：ヴェルクよこすか

☆衛生推進者養成講習会  
開催日：7月28日(木)  
会場：ヴェルクよこすか

\*ご注意

1. 新型コロナウイルス感染拡大の状況により、急遽開催を中止または延期する場合があります。
2. 会場予約・講師の都合により日程を変更する場合があります。
3. 詳細はその都度発行される案内をご参照下さい。

安衛協横須賀支部 検索 でHPを確認できます

<http://www.roaneikyo.or.jp/shibu/yokosuka/index.html>

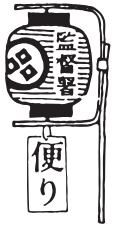
令和4年度 全国安全週間横須賀地区推進大会  
(参加者数を制限して開催)

全国安全週間(7月1日～7月7日)とその準備期間(6月1日～6月30日)の活動を積極的に推進するため、例年全国安全週間横須賀地区推進大会を開催しております。

令和4年度全国安全週間横須賀地区推進大会は、新型コロナウイルス感染防止対策のため、全参加者数を100名程度に制限して開催するになりました。

このため、横須賀支部としては、会員事業所に参加希望調査を行った上、会員事業所から約20名の方に参加して頂くことと致しました。

会員事業所の皆様には、改めて御了承頂きますようお願い申し上げます。



令和四年四月一日の人事異動で、横須賀労働基準監督署の職員は次のとおりとなりましたので、紹介いたします。  
よろしくお願いたします。  
(\*が新任者です。)

署長 阿部 幸伸

監督課長 \*稲富 章雄

労働基準監督官 姫宮 尚子

労働基準監督官 石塚 純也

労働基準監督官 松橋 悠樹

労働基準監督官 \*堤 爽華

庶務係事務官 白松 京介

総合労働相談員 太田 裕輔

総合労働相談員 川名 隆憲

三六協定点検指導員 三反崎 江美

未払賃金等調査補助員 寺西 恵

未払賃金等調査補助員 平沢 純子

安全衛生課長 \*生田 悟

安全衛生課長 坂間 洸之

労働基準監督官 大塚 たき子

石綿届出等点検指導員 勝田 和夫

計画届審査員 勝田 和夫

労働課長 中越 盛司

給付調査官 \*立崎 菜穂子

厚生労働事務官 内田 香菜

厚生労働事務官 \*入内 島美有

給付調査官(再任用) \*林 米男

労働保険調査員 田中 万悠子

労働保険調査員 長島 百合美

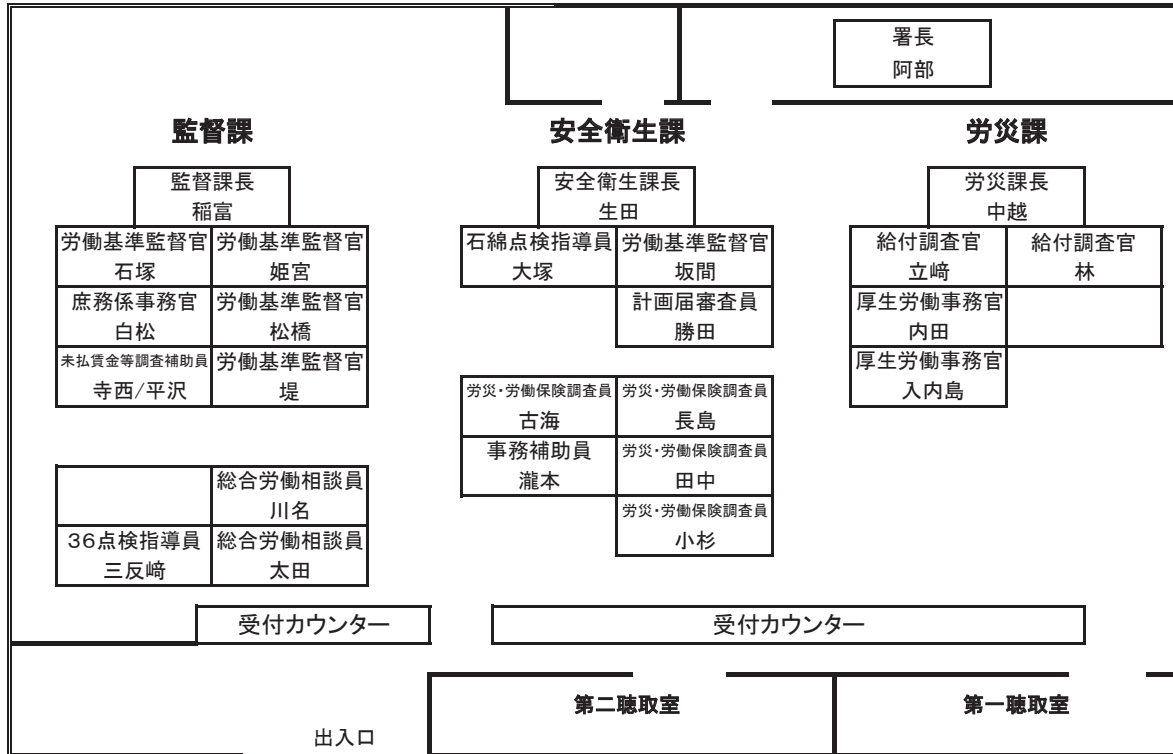
労働保険調査員 古海 実

労働保険調査員 小杉 道代

事務補助員 瀧本 祐子

横須賀労働基準監督署 配置図

(令和四年四月一日付)



★ ご婚礼・ご宴会承ります ★

# よこすか平安閣

〒238-0041 横須賀市本町 1-4(ベース前)

ご予約、お問い合わせはフロント予約係まで

☎ フリーダイヤル **0120-23-1122**  
<http://www.heiankakuyokosuka.com>

お気軽に、ご相談ください！

安全衛生診断・改善指導、安全衛生教育・講演  
 化学物質のリスクアセスメント教育等

## 白須労働衛生コンサルタント事務所

所長 白須 吉男

〒239-0845 神奈川県横須賀市粟田 1-23-10

電話 (FAX) **046-848-2301**  
 E-mail: yshirasu@jcom.home.ne.jp

デザイン・オフセット印刷・オンデマンド印刷

## 有限会社 舟津印刷

〒220-0061 横浜市西区久保町31-23

TEL : **045-242-3171** (代)  
 FAX : **045-241-0478**  
 E-mail : lei05155@nifty.com

21世紀 企業の発展は  
 働く人の健康確保から

50人未満の事業場の事業主・労働者の皆さん 地元の産業医  
 による健康保健サービスをご利用ください (無料です)

## 三浦半島地域産業保健センター

(神奈川県産業保健総合支援センター・三浦半島窓口)

〒238-0005 横須賀市新港町 1-11 (横須賀市医師会館内)  
 TEL&FAX 046-822-3053



### 労働災害発生状況

令和三年における労働災害発生件数が確定しましたのでお知らせします。この確定とは、令和三年一月より令和三年二月に発生した休業四日以上以上の労働災害について、提出された労働者死傷病報告（様式第二三号）の受理件数について、統計を作成するに当たっての締切日を設け、統計数値の確定を行ったものです。

統計としては、全産業において四四〇件と前年（四二六件）に対して一四件、三・二パーセントの増加となり、残念なことに死亡災害も二件発生して二名の尊い命を失う結果となりました。

死亡災害はもとより、労働災害はあつてはならないものであり、各事業場におかれましては、より一層の労働災害防止への取組をお願いいたします。

なお、全国の労働災害統計については、厚生労働省のホームページ（[http://anzeninfo.mhlw.go.jp/use/anzaen/tok/foukei\\_index.html](http://anzeninfo.mhlw.go.jp/use/anzaen/tok/foukei_index.html)）神奈川の労働災害統計については、神奈川労働局のホームページ（[https://site.mhlw.go.jp/kanagawa-roudoukyoku/jirei\\_toukei/anz-en\\_eisei.html](https://site.mhlw.go.jp/kanagawa-roudoukyoku/jirei_toukei/anz-en_eisei.html)）より確認してください。

### 令和3年労働者死傷病報告受理状況(確定)横須賀労働基準監督署

業種	当年 (令和3年)	前年 (令和2年)	増減数	増減率
食料品製造	9	13	-4	-30.8%
繊維工業				-
衣服その他の繊維				-
木材・木製品				-
家具・装備品	1		1	-
パルプ等	1		1	-
印刷・製本				-
化学工業	3	1	2	200.0%
窯業土石	2	2		-
鉄鋼業	1		1	-
非鉄金属				-
金属製品	9	4	5	125.0%
一般機械器具	4	3	1	33.3%
電気機械器具	1		1	-
輸送機械製造	16	11	5	45.5%
電気・ガス	1		1	-
その他の製造	2	3	-1	-33.3%
01 製造業小計	50	37	13	35.1%
02 鉱業				-
土木工事	13 (1)	22	-9 (1)	-40.9%
鉄骨・鉄筋家屋	8 (1)	2	6 (1)	300.0%
木造家屋建築	23	30	-7	-23.3%
建築設備工事	4	6	-2	-33.3%
その他の建築工事	12	20	-8	-40.0%
建築工事	47 (1)	58	-11 (1)	-19.0%
その他の建設	4	6	-2	-33.3%
03 建設業小計	64 (2)	86	-22 (2)	-25.6%
鉄道等	2	1	1	-
道路旅客	16	15	1	6.7%
道路貨物運送	21	25	-4	-16.0%
その他の運輸交通				-
04 運輸交通業小計	39	41	-2	-4.9%
陸上貨物	1	2	-1	-50.0%
港湾運送業				-
05 貨物取扱小計	1	2	-1	-50.0%
農業	6	7	-1	-14.3%
林業				-
06 農林業小計	6	7	-1	-14.3%
畜産業		1	-1	-100.0%
水産業	4	3 (1)	1	33.3%
07 畜産・水産業小計	4	4 (1)	-(1)	-25.0%
卸売業	2	6	-4	-66.7%
小売業	54	42	12	28.6%
理美容業	1		1	-
その他の商業	4	4		-
08 商業小計	61	52	9	17.3%
金融業	5	1	4	400.0%
広告・あっせん		3	-3	-100.0%
09 金融広告業小計	5	4	1	25.0%
10 映画・演劇業		1	-1	-100.0%
11 通信業	5	10	-5	-50.0%
12 教育研究	6	5	1	20.0%
医療保健業	24	17	7	41.2%
社会福祉施設	67	69	-2	-2.9%
その他の保健衛生		1	-1	-100.0%
13 保健衛生業小計	91	87	4	4.6%
旅館業	1	5	-4	-80.0%
飲食店	18	18		-
その他の接客	14	7	7	100.0%
14 接客娯楽小計	33	30	3	10.0%
15 清掃・と畜	27	25	2	8.0%
16 官公署	2		2	-
派遣業				-
その他の事業	46	35	11	31.4%
17 その他の事業小計	46	35	11	31.4%
合計	440 (2)	426 (1)	14 (1)	3.3%

※ 各欄左側の数字は休業4日以上の災害件数、右側（ ）内は死亡災害件数（内数）



横須賀労働基準監督署  
安全衛生課長  
生田 悟 氏

この四月一日付で横須賀署の安全衛生課長に就任された生田悟氏を紹介いたします。  
平成一三年四月に厚生労働技官として採用され、横浜北署安全衛生課に配属、今までに、労働局及び

七署で勤務されてきました。平成一八・一九年に横須賀署第二課、平成二五・二七年に横須賀安全衛生課で勤務をされており、今回三回目の横須賀署勤務になるとのことです。横須賀に住んだことはいとのことですが、勝手に帰ってきたような気分とのこと。  
横須賀署での職務や職務を遂行するにあたって気にかけていることを伺ったところ、「働く人の安全と健康を確保するための措置が適正に講じられるよう事業場の指導等を行っています。」

私が若かったころは、事業場にお邪魔すると、「うちの会社はこんな安全活動をしているんだよ。」と聞いてもいないのに、安全担当者  
が自社の取組みを自慢するかのよう  
に説明していただくことが多  
かったのですが、最近では聞いても  
よくわからない、前の担当者が  
やっていたかもしれないなどの  
返答をいただくことが多くなった  
気がします。安全衛生の水準が低  
下しているのではないかと大変危  
惧しております。」とのこと。  
現在は、横浜市の自然豊かな地  
域にお住まいで、電車を乗り継ぎ、  
通勤時間は一時間ほど。休日は車  
に乗ること、ちよっとしたDIY  
をするのがお好きだそうです。

横須賀署管内の印象に残っているものを伺ったところ、「走水の丘陵から見える美しい水平線」、「牧場のソフトラーム」、「防空壕跡  
とおいしい魚料理店が多い！」とのことでした。  
最後に、読者へ伝えたい事を伺ったところ、「今年度は、第一三次労働災害防止推進計画の最終年度であります。当署においては、減少するどころか、増加傾向となっております。  
労働災害は本来あつてはならないものであり、安全管理活動を継続して実施していく必要があります。コロナ禍においても、新型コロナウイルスの基本的な感染対策を講じながら、労使一丸となって労働災害の撲滅に向けた取り組みをよろしくお願いたします。」とメッセージをいただきました。  
(文責 進藤)